

別荘地も最近では定住者が増えて場所によっては村のようになってきています。

播磨自然高原というところに住んでいますが、古くからいる某住民に初対面の時点で「わたしは住民管理の別荘地の元理事でエラいんだぞ。あんたはまだ住んで10年だろ。」みたいな感じの事を言われたことがあります。

「あんたの家は前はx xが住んでいて」と人の家の事も自分の方が良く知ってるみたいに言われましたが、売主に聞くとデタラメでした。とても気分が悪かったです。

そんな調子の元理事がいるせいか、最近では、その元理事と知り合いとか別荘地内の肩書のあるエラい人と知り合いって事を初対面から前面に出して、政治力がある事を売り物にしている人が増えているように感じます。

そんなしがらみが嫌だから別荘地に住んでいるのに、別荘地内のエラい人と知り合いだから自分はエラいんだと豪語して憚らないレベルの人がいるのは実際事実です。また元理事を軸に派閥みたいなのが出来ているみたいです。

その元理事も理事さんも自称"元理事さんの知り合い"も別荘利用者の一人で、他の人よりも管理費を多く払ってるわけでもないんですよ。でも実際には住民管理の別荘地だと、役職があると政治的な権力があるんでしょう。

人づきあいがいい政治力がない住民は、知らず知らずのうちに階層のあるコミュニティの下っ端になっている感じがします。

住民管理の別荘地は内部でいろんな特例（抜け道）を作っていますが、ツテがない一般の住民はその特例を知る手段すらありません。土地も公には100万ぐらいで売られていても、「私に言ってくればこの高原の土地は10万円になる」と自分には口利きが出来ると豪語する住民も出てきています。

別荘地でも住民管理だと内部はこんな状況になりかねません。